

Magazine of Teikyo  
Alternative Life

[フレア]  
TAKE FREE

# Flair

October 2008 / Autumn  
Vol.  
**71**  
THE TEIKYO SELF

## CONTENTS

02 This is my style.

こんな風に、暮らしています

12 Good Fellows.

やっぱり仲間が、一番です

14 Good Health.

やっぱり健康が、一番です

15 What's Up?

いま、何やってる?

16 Our Recommend!

みんなの、カルチャー

18 Notice Board.

大学からのお知らせです

特集

# みんなの旅'08



[www.teikyo-u.ac.jp/flair/](http://www.teikyo-u.ac.jp/flair/)



発行月：2008年10月（年4回発行）発行：帝京大学本部大学PR推進室 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL 03-3964-4162 FAX 03-3579-5903 E-mail: post@med.teikyo-u.ac.jp  
URL: <http://www.teikyo-u.ac.jp/flair/> ご意見・ご要望をお待ちしております。郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。©帝京大学 2008 禁・無断転載





宇都宮キャンパスにて



This is my style.

こんな風に、暮らしています。

板橋キャンパスにて

File:2

name: 山道修一さん(右)  
佐々木伸紘さん(左)  
grade: 3  
hobby: 航空機械設計  
class: 理工学部  
航空宇宙工学科

空を飛びたくて、  
放課後も頑張っています

自作の飛行機で「鳥人間コンテスト」に出場し、優勝することを目標にしている宇都宮キャンパスの「SKY PROJECT」。航空宇宙工学科の面々が中心とあって、メンバーは飛行機のことでもいつも頭がいっぱいなのだ。部員の佐々木さんは「部活には毎日顔を出しています。人を乗せて飛ばすという目的に向かって、一から頑張るのが楽しいんです」と、その魅力を語る。一方、部長の山道さんからは、「飛行機の本を買って読んだり先輩にアドバイスをもったりしながら、自分なりに試行錯誤しています」と、「勉強」の枠に捕らわれず好きなことに取り組んでいる様子が伝わってきた。

過程も楽しむ。それが目標達成への近道なのかもしれない。



左は、初めて鳥人間コンテストに出たとき作ったプロペラ。右はカーボン繊維で作ったパイプ。とにかく軽い!

File:1

name: 柳本将吾さん  
grade: 2  
hobby: ハンドボール  
class: 医療技術学部  
スポーツ医療学科  
救急救命士コース

救急救命士になるために  
勉強と部活、どちらも大事

「今すごく充実しています」と語る柳本さん。日焼けした顔に、笑顔がよく似合う。2年生になって実習も増え、授業も本格的な医療知識を問うものになった。「根っからの文系」の彼にとって、大学の授業はかなり大変だ。何しろテキストは電話帳のような分厚さ。テスト前には集中的に暗記しなければならない。「徹夜で勉強して試験を受けたら体調を崩してしまつたので(笑)、それ以来控えています」普段は板橋キャンパスで学んでいるが、授業が終われば八王子へ。ハンドボール部の練習には週4日、顔を出す。「救急救命士には体力が必要」と柳本さん。「責任感がある」と周囲も認める彼が救急救命士として活躍する日は、そう遠くない。



いざという時に備えて、いつも持ち歩いているのが、フェイスシールドキーリング。感染防護用の人工呼吸用シートが入っている。





在本彌生さん Yuyoi Arimoto

写真家

客室乗務員として10年以上にわたり、日本とイタリアを往復。乗客に勧められたことをきっかけに、2000年より本格的に写真撮影を開始。以降も世界中を飛び回りながら、雑誌や広告の世界で活躍している。

Interview with Photographer

## 写真家・在本さんに聞く 旅の魅力って何ですか？

「ひとつのところにじっとしていられないの」と、あどけない表情で笑う写真家・在本彌生さん。誰とでも仲良くなれる。何に対しても寛大でいられる。そんな彼女の性格は、旅が作ったものなのかもしれない。

「非日常との接触が自分の世界を広げる」  
写真家・在本彌生さんの人生は、旅抜きでは語れない。かつてキャビンアテンダントとして、日本とイタリアを往復し続けていた彼女。元々旅好きではあったが、当時の乗客に勧められてカメラを手にして以来、様々な国や地方に赴いてはシャッターを切るようになった。写真家としてその腕が認められ始めた今では、旅雑誌などでもその活躍を見ることができている。今まで訪れた国の数を「数えたことがない」と笑う彼女にとって、旅は「日常」そのものなのである。

最近彼女が訪れた国のひとつに、モロッコがある。マラケシュから車で3日間。ようやく広大な砂漠と対面したときの感動は、言い表し難かっただろう。しかしそれ以上に彼女は、土地に根付く独特の文化や国民性に面白味を感じたという。「マラケシュの広場ではたくさんの人々が露店を出していて、もうなんでもアリなんです。入れ歯を売ったり、飲み物のボトルを並べて子どもに釣らせたり、大道芸をしたり。何をやるでも生きて行ける場所なんだろうな、こは、と思いましたがね」  
彼女が撮る写真には、現地の人々やそこにあるもの奇妙さ、色っぽさが写し出されている。



「モロッコで出会った子供たち。かわいい笑顔は万国共通。どこに行っても子供の姿には癒され、元気になります」

「出掛ける度に飛行機の窓から見える景色に感動します。どこに行っても朝焼けは赤く、明日に希望を与えます」

「砂漠といえはらくだ。らくだの悠々とした姿が美しく暑さをものもしないところに感じます」

「マラケシュの市場は朝も夜の活気があっていつ眺めても飽きないマンウォッチングスポットです」

「モロッコで朝の大砂漠の静寂に出会いました。美しいと同時に静寂の意味を教えられる風景でした」

在本さん、モロッコの風景を見せてください。



# みんなの旅 '08

特集

## いろんな旅に、 出会いにいこう。

きらびやかなアジアの屋台、重厚なヨーロッパの大聖堂、真っ青な沖縄の海…。あなたはいつ、旅の思い出を持っていますか？ 映画や写真集などを眺めながらまだ見ぬ地に思いを馳せるのもいいけれど、町の匂いや食べ物、人々の温かさなどは、今いる場所を飛び出してこそ肌で感じられるというもの。一度でも旅に出たことのある人なら、わかるのではないのでしょうか。というわけで今回の特集は「旅」。国内外さまざまなところへ出かけた人たちから、旅先で出会った感動やハプニングなどについてお話を聞いてきました。実際に行って、見て、体験してきた人の言葉は強い！ これを読めば、あなたも旅へ出かけたくなるはずです。



# 一般道で京都を目指す

「世界を見る前に、日本を知ろうじゃないか!」と、一般道を使って車で京都を目指すことになった男友達4人。彼らに与えられた時間は、4日間。果たして、目的は達成されたのか?



宮田草平さん Sohei Miyata

文学部社会学科 3年

スキューバダイビングサークルで知り合った男友達 4 人で、寄り道しながら車で京都へ。夏休みは、ダイビング目的で沖縄へも行った。



圧巻! 松本城

初の観光地、松本城へ。早朝は人が少なく、過ごしやすかったそう。先を急ぐ気持ちもあるため、見たあとはスピーディに移動。



ハイペースで長野へ到着

最初の目的地は岐阜だったが、スタートダッシュでつまずいたため長野で一泊。二日目の道中、松本市で催されている祭を発見。



ようやく出発です

結局 3 時間遅れで出発。これは車中での一ツシュでつまずいたため長野で一泊。二日目の道中、松本市で催されている祭を発見。



待ち合わせ、基平を着て

千葉の清水公園にて。7 時に出発予定のはずが「荷物が多すぎて改札を通れない」と企画者が遅刻! その間、基平を着て遊ぶ。



飛騨の山々を臨みつつ移動

長野から石川、そして富山へ。山道が続く。県境を越える度に歓声が上がった。自然の美しさにうっとり。少し車を止めてパチリ。



石川の「道の駅」にて、ナビダウン

スタートからナビし続けていた助手席の彼も、ついにリタイア...と思われたが、その後復活して最後まで任務を全うした。



びわ湖のほとり、一枚

びわ湖の美しさと大きさに、ひたすら驚く。あとから「滋賀県の 6 分の 1 がびわ湖」ということを知り、さらにびっくりしたそう。



湖の真ん中に立つ鳥居に感動

ひたすらびわ湖の周りを走行中、湖の真ん中に立っている鳥居を発見。慌てて写真を撮る。なぜ建てられたのか気になる…。



京都らしい石畳が随所に

土産物屋が並んでいても、少し路地に入ると思家がある。そして民家が広がる場所にも石畳が。古都の風情のため息が漏れる。



これぞ清水の舞台

歴史的建造物、清水寺を堪能。夏休みだから、いつものことなのか、大いにぎわいを見せていた。外国人も多かったとか。



京都の名所のひとつ、清水寺

清水寺の入り口にて。車に乗っているときはこのあたりで渋滞したそう。空いている駐車場を探すのが大変だった。



目的地、京都へ到着!

浴衣か基平をまとい、京の町を練り歩くのが目的。朝、宿で着付けを行い車へ乗り込んだ。苦労の甲斐あって、やっと到着!

## Trip Data

8月9日 AM10:00、男友達4人で車に乗り、千葉県野田市を出発。行きは一般道を使ったため、右記以外にも数多くの県を通過した。京都に向かう途中、長野、福井でそれぞれ一泊し、高尾山を越えて千葉へ戻るときに愛知県豊橋市でもう一泊。宿は携帯電話でインターネット検索し、電話で予約をした。12日、千葉着。

- 千葉県野田市を出発
- 長野県松本市で一泊
- 岐阜、富山など通過
- 福井県敦賀市で一泊
- 滋賀を通り京都到着
- 高尾山を越えて千葉へ

「次は東北か四国、九州かな。車は…ドライバーがもうやらないでしょう(笑)。でもまた同じメンバーで行きたいですね」

「当初の目的、できるだけ多くの県を回る。は達成。泊まればしななかったというしんどい話ですけど」と宮田さんは笑う。

それでも道中は、比較的自然の多いところを通った。県を2つくらい越したあとで休む。というルーラーの下では度々車を降りるのも難しかったが、車中から見る山も絶景だったという。また各所の「道の駅」でも、その土地ならではのものに出会えて面白かったそう。

「次は東北か四国、九州かな。車は…ドライバーがもうやらないでしょう(笑)。でもまた同じメンバーで行きたいですね」

この達成感には計り知れない。ドライバー、お疲れさま!

寄り道しながら「日本を知ろう」と友達4人で決行した企画。4日間という短い期間で、一般道を使って京都まで行くのはかなりハードだったと思うが…。

「当初の目的、できるだけ多くの県を回る。は達成。泊まればしななかったというしんどい話ですけど」と宮田さんは笑う。

それでも道中は、比較的自然の多いところを通った。県を2つくらい越したあとで休む。というルーラーの下では度々車を降りるのも難しかったが、車中から見る山も絶景だったという。また各所の「道の駅」でも、その土地ならではのものに出会えて面白かったそう。

# 北海道一周ツーリング

8月20日~30日の10日間で、3200kmを走破した渡辺さんの北海道ツーリング。夏休みの思い出にしては、あまりに寒かった……?



渡辺勇太さん Yuta Watanabe

文学部社会学科 3年

旅の友、カワサキ KLE250 はバイト代で買った初めての愛車。今回の北海道一周のように目標をやりとげた“達成感”のあるツーリングが好き。



キタキツネに遭遇!

危うく轢いてしまうところだったというキタキツネ。怖がる様子もなく人懐っこいが、感染症の心配もあり、触ることはできない。



寝泊りはコレで

ツーリング中の寝泊りは持参のテントで。銀マットなしで寝袋のみという状態で冷たく硬い地面の寝心地は「最悪」だったとか。



北海道一周スタート

15:00前には苫小牧に着いて、いざ出発!カワサキ KLE250 アネーロで北海道を左回りに一周するツーリングがスタート。



さんふらわあに乗船

茨城の大洗を出発するフェリー「さんふらわあ」に乗って約20時間で苫小牧に到着。乗船料はバイク込みで約2万円。



さすが北海道

北海道ならではの、のどかな景色が続く。牛だけでなく馬やエゾシカなどの動物に出くわす率は、都会では考えられないほど。



寒さが身にしみる街

網走で博物館網走監獄を観光。街の雰囲気もあってか、もっと北を走っているときよりもこの街にいるときのほうが寒かった…。



日本最北端の宗谷岬

4日目には日本最北端の地、宗谷岬に到着。日本の果ての果てに来たという達成感を得られた印象的なスポットだった。



“元”ライダーハウスの

このオヤジさん、採算が合わず(1泊1,000円…)ライダーハウスを閉業したが、今でも訪ねてくる人を自宅に泊めてくれる。



お疲れ様でした

一周を6日間で終えてしまったため、急遽予定を変更して旭山動物園や富良野を観光。再び苫小牧へ戻り北海道を後にした。



ライダー御用達

北海道へ来たなら誰もが世話になるというコンビニ「セイコーマート」。地元の素材を使ったお惣菜などが買える。



ライダーハウス

古い駅舎を改装したライダーハウスの中には毛布が敷かれ、適当に雑魚寝ができる。ほかに電車を改装したものなんかもある。



「天国の本屋」ロケ地

竹内結子主演の映画「天国の本屋」のロケ地となった留萌のあたり。今回の旅でどうしても行きかけた場所のひとつ。

## Trip Data

8月20日 18:30に茨城県大洗を出発し、翌21日14:30過ぎに北海道苫小牧に到着。左回りに北海道を回るコースで、6日間で一周を走破。27日には再び苫小牧へ。日程に余裕ができたので、富良野や旭山動物園を観光して過ごす。29日苫小牧出発のフェリーに乗り、30日に大洗到着。3200km走ってガソリン代は合計28,000円。

- 大洗~苫小牧へ
- 博物館網走監獄を見学
- 最北端宗谷岬到着
- 最西端、最南端通過
- 一周を終え苫小牧着
- 動物園、富良野観光
- 苫小牧~大洗へ

3200km走破の北海道一周ツーリング

10日間で北海道一周ツーリング。が今回の旅の目的。ところがフタを開けてみれば予想より4日も短い6日間で行程を終えてしまった。それもそのはず渡辺さんのツーリングは、観光や食事こそそこそこはたすら走り続けるというもの。「降りるのが面倒くさくなって」しまい、700km走った日もあるという。印象に残っているのは「とにかく寒かった」こと。8月だというのに気温は10℃前後。地元の人に「もう10日早ければね」と言われ、北海道の夏の短さを実感したという。

さて、次はどこへ? の問いに困った様子。「北海道を一周してしまつたので、もっと達成感を得られる場所となること」と。とにかく、走る。ことが、渡辺さんの旅のスタイルなのだ。



# レンタカーでアメリカを横断&縦断

高校時代の同級生と地元・名古屋で久しぶりに再会し、「何かでっかいことやりたいね」という話から発生したこの企画。ほとんど寝ないで走り続けた彼らの成果はいかに？



丹羽史彰さん Fumiaki Niwa  
理工学部航空宇宙工学科3年  
理工学部の研修旅行で一度 NASA へ行ったため、渡米は二度目。今回は現地ですべてをまけてもらったりと、人の温かさにも触れた。



国立公園の中にも宿泊施設が  
夕方ヨセミテ国立公園に到着し、公園内のテントに宿泊。1部屋76ドル。熊が出るらしく、車の中の荷物はすべてテント内へ。



橋だけでなく景観も素晴らしい  
サンフランシスコで見たかったもののひとつがこの赤いゴールデンゲートブリッジ。「世界で一番美しい橋」と称されている。



サンフランシスコまでの道中で  
トラックにどっさり積まれたみかんは、走る度に荷からぼろぼろこぼれ落ちる。写真を撮っていたら、運転手が手を振ってくれた。



シアトルのボーイング本社工場へ  
並んだ飛行機をバックに一枚。丹羽さんのリクエストで訪れたこの場所では、製作途中の飛行機も見られて興奮したようだ。



ヨセミテの岩山に登る  
ハイキングコースにて、一日中山登り。初級・中級・上級の中から、彼らは中級をセレクトした。登って下りて、計8時間。



アメリカでも早起きは三文の徳  
ロスを後にし、夕方グランドキャニオンへ到着。次の日は5時に起きて、素晴らしい朝日を見た。午後からはここでトレッキング。



悠久の歴史が息づく場所  
モニュメントバレーでツアーに参加。一般車は入ることができなかったため、原住民の方に車を運転してもらいながら観光する。



飛行機好きは高所も平気  
カンザスシティでは、ゲートウェイアーチへ。なんと薄っぺらいおもてなしを受けた。台湾ビールは苦みが少なく飲みやすいそうだ。



アメリカで牛丼を食べる  
旅も終わりに近づいた寂しい最終日、レンタカーを返却した後ニューヨークの吉野家へ。1食10ドルと、日本よりかなり高め。



ニューヨークといえばコレ  
ニューヨークの定番、自由の女神。この中はミュージアムになっており、自由の女神と同じ大きさの顔や足などが展示されていた。



間近で見る滝はすごい迫力  
シカゴを出てナイアガラフォールズという街へ。ここではナイアガラがメイン。滝の近くまで船で行き、水しぶきを浴びて興奮！



何だかサマになってます  
セントルイスからシカゴに向かう途中のガソリンスタンドにて、朝、給油をしながら歯みがき。お昼ごろ、一行はシカゴへ到着した。

### Trip Data

9/1、友達3人でシアトルへ。レンタカーを借り、サンフランシスコ、シカゴ、ニューヨークなど、17日間かけてアメリカを横断&縦断した。途中ロサンゼルスで、後から来た友達と合流。宿に泊まるときは、ひとり約20ドルのモーテルをセレクト。夜通し走ることも多かった。レンタカー代約20万円+ガソリン代約4万円。

- 9/1シアトル着
- ▼
- 車でサンフランシスコへ
- ▼
- ロスで友達を拾う
- ▼
- グランドキャニオンへ
- ▼
- シカゴに到着
- ▼
- NYで夜を過ごす
- ▼
- 9/18成田へ

「次はメンバーのうちひとりと、アマゾンの源流を目指します」もう一度「でっかい」お話が聞けるのか、楽しみである。

「自分たちの力だけでなんとかする」という決意の下に渡米した丹羽さんたち。行き先も現地で決める自由なやり方は、大変でありながらも「楽しかった」そうだ。

結果、17日間であんと東西8704kmを走破。世界的に有名な観光地を始め、丹羽さんとしては飛行機関係の展示などもたっぷり見学できて満足したという。またニューヨークで立ち寄ったハンバーガー屋の隣がワイルドトレッドセンターだと気付かず、次の日再び同じ場所へ観光に出かけてしまった、という旅ならではの面白エピソードも聞かせてくれた。

でっかいアメリカを、ほとんど制覇

# 史学科の研修旅行で台湾へ

昨年開催された、史学科の台湾研修旅行。2008年も彼らは「帝京大学の代表」として、現地の方々と交流した。観光やグルメだけでなく、人々の温かさにも触れられた旅だったようだ。



大島理絵さん Rie Oshima  
文学部史学科4年  
台湾に行くのはもう6回目。既にメジャーな観光地は知り尽くしている。台湾語も覚えつつあり、今回新市郷の皆さんの前で挨拶も行った。



台湾の新幹線です  
4日目は正装して、樹徳科技大学へご挨拶に伺った。台北を離れ、高雄まで新幹線で移動。台湾の端から端まで走って、2~3時間。



右が蔡先生、左が弟さん  
3日目は、史学科の蔡先生のご実家である台湾料理屋で昼食。台湾の田舎料理を堪能した。香菜たっぷり、好きな人はクセになる。



叶え! この想い  
恋愛の神様「月下老人」も祭られていることでも有名な、台北霞海城隍廟。女子は一生懸命線香に灯を灯すが、男子は疲れて休憩中。



厳粛な儀式を鑑賞  
忠烈祠入り口にて、1時間ごとに行われる衛兵の交代儀式。交代した後の衛兵は、立っただけの交代まで全く動かない。



新市郷の方と、笑顔で記念撮影  
新市郷の郷長にお会いし、食事や出来立てのビールなどで厚いおもてなしを受けた。台湾ビールは苦みが少なく飲みやすいそうだ。



石碑と見まごうお墓  
オランダ統治時代の建築物、台南のゼーランジア城付近の墓地。亡くなった時期により良い方向が違うため、お墓の向きは様々。



台湾で、日本人の跡を見に  
台湾で有名な日本人のひとり、八田氏が明治時代に作った「八田ダム」も観光地のひとつ。ダム周辺を巡るバスはとても可愛い。



台湾の大学生と仲良くなりました  
開南大学日本語学科の皆さんと交流。「日本のどこが好き」とか「芸能人で誰が好き」といった話題で盛り上がる。もちろん日本語!



元帝京大学の留学生に出会う  
帝京大学に留学していた台湾人の先輩は、卒業して本国へ帰り台北のホテルで働いている。もちろん一行も、ここへ宿泊した。



無傷の神が見つかった奇跡の廟  
再建直後に、大地震で崩れてしまった廟。中に安置されていた神様が無傷だったことから、奇跡の廟として今も残されている。



おいしい食事の後は、感涙の嵐  
南澳の原住民の村で食事をしたあと、彼らのお話を聞く。現状のことや、統治時代のこと。「私たちは日本人です」との言葉に、涙。



南澳の原住民が住む村にて  
第二次大戦以前、台湾での事故をきっかけに設置された「サヨンの鐘」のレプリカ。この鐘は映画や歌となり語り継がれている。

### Trip Data

初日は、台北に着くとホテルに直行。次の日から観光名所などを回る。9月1日に台南方面へ移動し、大学や新市郷を訪ねる。台南方面の観光も済ませ、4日に再び台北方面へ戻る。さらに大学や南澳を訪ねる。昼間は僕だけだったが、夜は同行した先生も含めて大島さんの部屋に集まり、その日の反省会などで一日を終えた。

- 8/29~31まで台北観光
- ▼
- 樹徳科技大学(高雄)へ
- ▼
- 台南へバスで移動
- ▼
- 新市郷訪問、台南観光
- ▼
- 台北方面へ戻り観光等
- ▼
- 開南大学、南澳訪問
- ▼
- 9/8、桃園から成田へ

台湾を愛してやまない史学科の学生たち。大島さんは「何度訪れてもまた行きたい」という。観光地だけでなく現地の方々と触れ合うことで、台湾の空気を思い切り体感できたようだ。

「工場があるため瓶に入った出来立ての台湾生ビールがどんどん出てきました。食事も次から次へと馳走になり、彼らの歓迎の意を改めて感じましたね」

また樹徳科技大学への訪問は、後日台湾の新聞を賑わした。「今回の訪問は台日両国の架け橋となっただけでなく、台湾の学界界での交流にも大いに成果をもたらした」と書かれている。

去年この研修旅行に参加した大島さん。今回団体行動で訪れた観光地にも、何度も足を運んでいる。しかし特筆すべきは、新市郷でのおもてなしだろう。「工場があるため瓶に入った出来立ての台湾生ビールがどんどん出てきました。食事も次から次へと馳走になり、彼らの歓迎の意を改めて感じましたね」

また樹徳科技大学への訪問は、後日台湾の新聞を賑わした。「今回の訪問は台日両国の架け橋となっただけでなく、台湾の学界界での交流にも大いに成果をもたらした」と書かれている。

台湾の新聞にも載った、記念すべき訪問



# ペルー・ボリビア・チリを巡る

バックパッカーとして、春にはメキシコ・グアテマラへ足を運んだ木内さん。この夏も身ひとつで南米へ出かけ、様々な経験をした。そう、衝撃の事件を含め…。



木内秀光さん Hidemitsu Kiuchi  
文学部史学科3年  
「旅をするときはひとりが気楽」という木内さん。次回挑戦したい場所は西アフリカ。最終的にはバックパッカーの聖地、インドを狙う。



リマの市街を見渡す  
旅で2軒目のホテルの屋上から、リマ市街を撮影。整然としており、比較的高级な住宅地に近い。すなわち治安は良い方なのだとか。



旅の間、唯一の相棒です  
ふたつのリュックは前と後ろに背負う。この時期は乾期だったため、急激に冷え込む夜に備えてたくさん衣類を詰め込んで日本を出発した。



宿から向かいの民家を撮影  
宿泊費は500円。旅では「Lonely Planet」という、バックパッカー用のガイドブックを参考にして、安いところをセレクトしながら泊まり歩いた。



南米の定番、アルマス広場  
南米の各国には「アルマス広場」という名の広場とカテドラルが必ずあるという。ペルーもまた然り。旅人はまずそこを知り、段々と街を知っていく。



広場の向かいにあるカテドラル  
広場手前の道路を一本挟んで反対側にあるカテドラル。左端には現地の学生。500円のホテルが存在するこの地で、入館料は330円と高めだ。



I got stolen!  
なんと旅2日目、アルマス広場にていきなりソフトクリームを顔にぶつけられた木内さん。ひるんだ隙にボロロイドカメラを盗まれてしまった。続く最終日には、なんとリマで首絞め強盗に！そこで持参のデジタルカメラも盗まれてしまう。「いい写真、いっぱいあったんですけどね」と口惜しそうな彼。それにしても、体が無事で本当に良かった。



旅先でできた友人から送られてきた写真  
1 チリの港町、イキケにて。世界遺産のハンパーストーンを見たあと、海で美しい夕日に出会った。2 ボリビアのエルアルト市場。次の目的地ウユニ塩湖が寒いという話だったので、ここでセーターを3着購入。計100円。3 ボリビアのラパスという町で知り合った日本人たち、左の2人は宿のおばちゃん。

**Trip Data**  
8月18日、成田からヒューストン経由でリマへ。マチュピチュやウロス島などを経てボリビアへ移動し、デスロードやウユニ塩湖などのツアーに参加。その後チリに移動し、最終的にペルーへ戻る。川下り、サンドボードのツアー体験後、成田へ。1ヶ月の旅費、およそ35万円。そのうち21万円は飛行機代。

- ペルーの首都リマへ
- マチュピチュ等観光
- ボリビアへ移動
- ツアーをふたつ体験
- チリへ移動
- 電車でペルーへ戻る
- ヒューストン経由で成田

普通の旅じゃつまらない！好奇心がすべての原動力  
「クスコの空は青かった」：メキシコ旅行中に出会った日本人の言葉に導かれて、ペルーを目指した木内さん。途中盗難というアクシデントに遭遇しつつも、貴重な冒険が満載の旅だった。年間200人が転落死しているというボリビアのデスロードを自転車で下ったり、直角に近い角度から落ちる高度な川下りをペルーで体験したりと、普通ならひるみそうなことにも果敢に挑戦。また湖に浮かぶボトトラ(葦)で作られた人工の島ウロス島では、うっかり地中(湖中)に足がめり込み驚いたそうだ。しかし一番驚きなのは、マチュピチュまでの道のりを線路つたいに歩いたこと。乗り合いバスでの移動も含め、トータル約100km。そのエネルギーはどこからくるのか尋ねると「好奇心でしようか」という返事が返ってきた。彼と同じく「好奇心」の赴くまま現地へ訪れた日本人と、楽しい時間を過ごしたこともあったという。旅の醍醐味はそういうところにもある。今度行くとしたら、あまり日本人が訪れていない西アフリカだ。彼の旅は、まだまだ続く。

# カンボジアのことをもっと知る旅

カンボジアに自分の未来を賭けてみたい。それが酒井さんの夢。教育や医療分野で活動するNGOやNPOを見学し、笑顔の子どもたちと触れ合った14日間だった。



酒井智美さん Tomomi Sakai  
文学部教育学科4年  
昨年、生まれて初めての海外旅行でカンボジアへ。今回の旅ではカンボジアの現状を知り、自分が目指す方向性のヒントを掴むのが目的。



未来のために、過去を忘れない  
カンボジアの歴史をもっと知るために、戦争犯罪博物館へ。虐殺された人たちの写真が並んでおり、圧倒される。



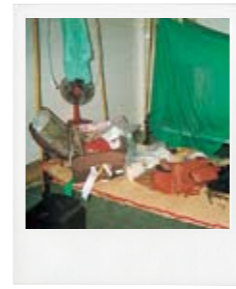
子どもたちも大事な働き手  
バタンバンへバスで移動。遺跡をまわる。近くにいた子どもがガイドをかってでる。これが家族を助ける大切な収入になる。



青空学校で勉強する子どもたち  
村はずれの日本語学校。子どもたちは皆一生懸命勉強していた。こんなところで日本語を教えることができれば、と酒井さん。



シェムリアップの日本語学校  
アンコールワット近くの「アンコールム日本語センター」を見学。いい仕事に就けるからと、日本語ガイドの需要はとて高い。



お世話になりました！  
プノンベンに移動。カンボジアの医療や教育を改善するために活動しているピーター博士のお宅に泊めてもらうことに。



村から村へ、動く歯医者さん  
村の住民に歯磨き指導をしたり、定期健診をしたりするモバイルクリニックを見学。JICAの人たちとも知り合いになる。



ここでも日本人が大活躍！  
JICAの人たちの誘いを受け、シアヌークビルの近くの島で、つかの間の休息。カンボジアの現状を知り、刺激を受ける。



子どもたちの笑顔のために  
障害がある子どもたちを支援する「ハウスオブスマイル」を見学。カンボジアの窮状を伝えなければとあらためて実感。



カタコトでおしゃべり  
「旅の指さし会話帳」でおしゃべり。子どもたちは元気で、日本人の酒井さんに興味津々。無邪気な笑顔が素敵だった。



路上生活者に食糧支援  
川の中州で路上生活をする人たちにパンを配る「サイド・バイ・サイド」の活動を見学。子どもはパンを抱えて大喜び。



ひとりでも多くの命を救いたい  
救命医療をカンボジアに広げる活動団体「TICO」を見学。日本だったら助かる患者さんがたくさんいることを知る。



大都市プノンベンの風景  
カンボジア最大の都市、プノンベン。貨幣経済が発展している一方で、ストリートチルドレンがあふれていて、胸が痛む。

**Trip Data**  
9月6日、羽田空港からカンボジアへ出発。7日、アンコールワットの町、シェムリアップに到着。9日、バスでバタンバンへ移動。11日、プノンベンに移動。12日、プノンベンの街を観光。戦争犯罪博物館でカンボジアの歴史を学ぶ。13日から、プノンベンの色々な施設を見学。18日、東京へ。

- 羽田からカンボジアへ
- シェムリアップに到着
- バタンバンへ移動
- プノンベンに移動
- シアヌークビル近くの島で1泊
- プノンベンで施設見学
- カンボジアから羽田へ

子どもの笑顔が忘れられない思い出  
将来的にカンボジアの教育にたずさわりたいと考えている酒井さん。今回の旅では、日本語学校や診療所、孤児院などを見学し、自分の方向性を模索した。特に印象に残ったのは、村はずれの日本語学校。デコボコの道を自転車で走ること30分、突如現れた学校は屋根根しかない青空学校だった。教室で二ワトリが走り回る、のどかな環境。「子どもたちはみんな一生懸命。こんなところで日本語を教えることができたと思います」ポルポト政権下の大量虐殺の影響で、教育や医療が立ち遅れているカンボジア。でも、子どもたちは無邪気で夢がある。「カンボジアが日本みたいに見えるような頑張りたいという子どもの言葉に感動。この国はきっと、もっと良くなるはず」



Good Fellows.

やっぱり  
仲間が、  
一番です



## HACHIOJI CAMPUS SWIMMING

関東学生選手権大会を数日後に控えた某日、プールサイドにひときわ  
厳しい声が響きわたった。真剣な面持ちで、主将の声に耳を傾ける部員たち。  
「部全体が好成績を残すこと」。それが水泳部のモットーだ。  
思いをひとつに彼らは戦い、この夏、創立以来初となる「2部昇格」を成し遂げた。

「関東学生選手権大会2部昇格」という目標に向かって、汗を流し続けた帝京大学水泳部。夢が現実となったその裏では、血のにじむような努力があった。水泳部の練習は週4日。初心者から全国大会出場者までレベルに開きがあるため、練習メニューをいくつか設け、それぞれの目標に合わせて黙々と練習を重ねる。一具、個人競技のように見えるが、帝京大学水泳部は「団体としての成績を残す」のが目標。それだけに、お互いが高めあう努力を惜しまない。部長の杉本巧さんは高校3年

生で全国大会に出場。その泳ぎを見ていた水泳部の前主将は、「ぜひ帝京に」と、熱いラブコールを送った。しかし「大学では水泳をやめよう」と思っていた杉本さん。AO入試で帝京大学を受験したときも、面接で水泳については一切語らなかった。

しかし何かに導かれるように、杉本さんはまたプールサイドに戻ってきた。「練習の厳しさから、何度もやめようと思っただ」。そう語るのには、彼だけではない。部員の保田貴之さんもまた、水泳の面白さと厳しさを知るひとりだ。「自分自身に打ち勝つのがいちばん難しい。自分の限界を超えて自己ベストを出すことで、ようやく報われるんです。同じく部員の押川諒さんは、水泳の面白さをこうも語る。「水泳を通していろんな出会いがあり、たくさんのお話を学んだ。それが僕の大きな財産です」。厳しい練習を経て彼らが得たものは、必ずしも結果だけではない。部員同士の固い結束力が、それを物語っている。

### 帝京大学水泳部

Teikyo Univ. SWIMMING CLUB

部員40人。うち女子は10名。「10歳から泳いでいた」というつわものから、水泳初心者まで、部員の経歴はさまざま。この夏、水泳部創立以来初となる関東学生選手権大会2部昇格を成し遂げた。



# QUESTION 海外での感染症を防ぐにはどうしたらいいですか？

海外に行くとなると怖いのが感染症。赤痢、チフス、コレラ、マラリア...。「聞いたことはあるけれど、その実態はよく知らない」という人も多いのでは？ 楽しい旅で感染症にかかって「行かないよかった」なんてことにならないために、正しい知識と予防策を先生に伺いました。

## ANSWER

### 食べ物も水も、「生」には気をつけましょう。

#### 感染症の一番の原因はなんですか？

Dr. 経口で感染する、いわゆる食中毒タイプのものが多いです。病原性大腸菌、赤痢やコレラ、腸チフス、パラチフスなど。海外に行ったら火を通したものを食べてください。細菌感染症だけではなく、寄生虫がいる可能性もありますからね。水も危ないので、ペットボトルなどで売られている安全なものを選んでください。また、瓶入りのジュースは、現地の水で作られている場合もありますから、避けてください。生水から作る水も危ないです。あと、怖いのは狂犬病。実は狂犬病がない国というのは世界でも少ないんですよ。日本が普通だと思つて

#### 特に気をつけたい地域はありますか？

Dr. 先進国ではあまり感染症は見られません。問題なのは、東南アジアや、アフリカです。アドベンチャー的な要素のある地域に行くときは、インターネットなどで予防法などを調べておきましょう。旅行者向けのパンフレットを作っているところもあるので、確認してみてください。

#### 感染したら、どのような症状が出ますか？

Dr. 下痢の症状が多いですね。下痢には、水分の補給が必須。

ことにもなるので、必ず申請してください。あとは、体調を整えてから出発すること。疲れた状態だと、やっぱり病気になるやすいです。

#### ところで、先生も旅はされますか？

Dr. 最近は妻と温泉に行くことが多いです。伊豆の天城や北海道などに行きましたが、景色のいい露天風呂に入るのが好きですね。



西谷 肇 准教授 Hajime Nishiya

帝京大学医学部内科学講座  
1982年東京大学臨床系大学院卒業。帝京大学第二内科助手を経て、2003年6月より現職。日本感染症学会会員、日本化学療法学会会員、日本環境感染学会会員。

「帝京大学時代の僕は、好奇心の塊でした。大学生活も遊びもアルバイトも、十二分に満喫。今思い出しても、いつ寝ていたんだらう(笑)」  
そう語るの、ヘアメイクアップ・アーティストの小椋ケンイチさん。彼は学内外を問わず、面白そうなことにはすぐに興味を示して行動するアクティブな大学生だった。学外に目を向けすぎると学校を顧みなくなる人が多い中、彼だけは別だったようだ。

「雑誌の編集部に『どうやってならねますか?』と手紙を出すほど、ヘアメイクの仕事がしたかったんです。心理学科を選んだのも『色彩心理学がメイクに役立つかも』と思つたから。他の学科の子から驚かれるほど、クラスの友達とは仲が良かったですね」  
今でも当時の友達とは大の仲良し。帝京大学という大きなフィールドで、生涯の友をたくさん見つけたようだ。

最近ではテレビ出演の機会も増えてきた。番組では全国各地を駆け巡りながら、メイクを通じて多くの人とコミュニケーションを取っている。帝京時代に培われたといつても過言ではない、持ち前の、親

しみやすさ。は今でも健在だ。「そこは、帝京大生の特長なのだと思えます。どこに行っても人なつこくて、好奇心も強い。それだけ前向きだと、社会に出ても楽しく受け入れてもらえますよね」

テレビ出演の一方、本業のヘアメイクは約15年のキャリア。今やベテランの域だが、小椋さんはここにきて改めて「徹底してやる。この大切さを実感しているという」。

「今までは、8割達成できたから満足していました。でも最近は、メイクを終えてOK、ではなく、もう一度見直す。そうすると例えば『この人の目尻は少し下がっているな』というのに気付くんですね。そこで仕上げにアイラインを上げてあげると、ぐっと良くなる。やはり80点と100点では、見える景色も達成感も、見返りも全然違います」

きちんとやったことは、必ず自分に返ってくる。彼はそのことを、自らの体験から学んで知っている。「好きなことだからこそ頑張れる。それはもちろん、言うまでもない。尻込みせず興味のあることにトライし続けた彼だからこそ、見つけられた夢なのだ。」

## INTERVIEW

ヘアメイクアップ・アーティスト

# 小椋ケンイチさん

8割達成したからって、満足しません。  
80点と100点では、景色が全然違うんです。



数多くの女優・タレントさんが愛用していると話題の、小椋さんプロデュース「楽屋ミラー」。使うだけでお姫様気分が味わえる！インターネットでも購入可能。

Kenichi Ogura

帝京大学文学部心理学科 92 年卒。SASHU W-3260 STUDIO でヘアメイクを学び、97 年に NEVER LAND 設立。小池栄子や栗山千明、谷亮子選手など今まで 200 人以上のメイクを担当。フジテレビ系列「にじいろジーン」を始めテレビでも活躍中。「おぐねーblog」の愛称でも親しまれる。「おぐねーblog」  
http://ameblo.jp/ogune/



# SPOT

## 「同じ波はない。それがサーフィンの魅力」

推薦人 薬学部薬学科4年 波紫祐哉さん



▲【青森県六ヶ所村】

原子燃料サイクル施設などの原子力施設や、エネルギー関連施設が集中する六ヶ所村。太平洋に面した海岸は、サーフスポットとしても知られている。

サーフィンを始めたら、地元(青森)の海が好きになった。「サーフィンを始めて、自然のことや自分の育った町のことや気になるようになった」と話すのは、薬学部4年生の波紫さん。お兄さんの影響で大学からサーフィンを始め、週に3回は海に行くほど夢中になった。「兄はすごく上手い。全然かきません。尊敬できる存在です」。

か。そして、サーフィンを終えたら、そのまま授業に直行。「さすがに眠い」と波紫さんは笑う。いちばんのお気に入り入りは故郷、青森県六ヶ所村。「六ヶ所村は青森のメジャーサーフスポット。風の影響は受けやすいけど、良い状態だと人ふたり分ぐらいの大きな波がバシバシ来るのがたまらないですね」。

# MUSIC

## 「深夜のラジオ番組を聞いて、僕は大人になった」

推薦人 福岡医療技術学部理学療法学科3年 笠卓也さん



▲【放送室】松本人志・高須光聖

(YOSHIMOTO R and C CO.,LTD. ¥5,775)

ラジオ番組「放送室」をまとめた10枚組のCD-BOX。第一巻は、2001年10月4日の初回放送から10回分の放送を収録。

ダウンタウン松本人志のもうひとつのすべらない話。「人を笑わせるのが好き。野球部では、みんなの盛り上げ役かな」と話すのは、理学療法学科3年生の笠さん。「お笑い大好き」という笠さんのお気に入り入りは、TOKYO FM系列で放送中の「放送室」。ダウンタウンの松本人志が、放送作家であり小学校時代からの親友である高須光聖と様々な話題についてトークを繰り広げる深夜のラジオ番組だ。「松本人志の大ファン」という笠さんはこの番組を中学生の頃から聞いていて、毎回の放

送を録音しつつCDも購入するほどの熱烈なリスナー。その魅力を語り出すと、思わず熱も入ってくる。「お笑いについて真剣に語ったり、テレビの未来を嘆いたり。社会問題について鋭い切り口でコメントすることも。テレビでは見ることができない松本人志の別の顔を知ることができるのが魅力ですね」。深夜の放送なので聞くのが難しいという人には、10回分の放送をまとめたCD-BOXがおすすめだ。「こんな考え方があるのかと、驚いたり、感心したり。話題も幅広いので、視野が広がりますよ」。

全国にある帝京大学のキャンパスで学生生活を送るみなさんに、友だちにもすすめたい、お気に入りのひとつ、聞かせてもらいました。お気に入りの場所や映画、音楽や本。そこには、それぞれの思い出と、大学生生活の現在がいっぱい詰まっています。

## Our Recommend!

みんなの、カルチャー

## 「3回観て、3回泣いた。純粋ラブストーリー」

推薦人 福岡医療技術学部理学療法学科2年 久木元芳輝さん



▲【ただ、君を愛してる】DVD発売中 (エイペックス ¥3,990)



©2006「ただ、君を愛してる」製作委員会

▲【ただ、君を愛してる】

突然、誠人の前から姿を消してしまった静流。2年後、NYで再会したふたりは、お互いの想いを伝えられるのか...2006年の大ヒット純愛ムービー。

こんな恋をしながらか、大学生活を過ごしてみたい。理学療法学科2年の久木元さんがおすすめするのは映画「ただ、君を愛してる」。大ヒット映画「いま、会いにゆきます」の市川拓司が手がけた切ないラブストーリーだ。コンプレックスを抱えているために、人とうまく付き合えない誠人(玉木宏)。幼い容姿の個性的な女の子、静流(宮崎あおい)。大学の入学式の日に出会ったふたりは、いつも一緒にいるけれど、友だち以上の関係にはなれそうにもない。静流は密かに、誠人に思いを寄

せているが、誠人は別の女の子に想いを寄せているからだ。誠人のために大人の女性になろうと静流は決心するのだが...。「3回観て、3回とも泣いてしまった」と久木元さん。「友情が恋に発展していくところとか、すごく甘酸っぱくて、ふたりの純粋さに胸を打たれます。こんな恋ができたらいいなと思います」。大塚愛が歌う主題歌「恋愛写真」も「映画のストーリーとすごく合っていていい」のだから、「恋愛映画をよく観る」というのだから、一見の価値はありそう。

## 「大切な人に、ずっと一緒にいようと言おう」

推薦人 経済学部経営学科3年 奥水真佳さん



▲【イツモ。イツマデモ。】

高橋歩 (A-Works ¥1,470) イツモ、イツマデモ。大切な人を、大切にしたい。そんな気持ちを思い出させてくれる、心温まるフォト&エッセイ。

青空が教えてくれた、本当に大切なこと。20歳で大学を中退。世界中を旅し、23歳で自伝を出すために出版社を設立。ベストセラー「毎日冒険」を世に送り出した高橋歩さんは現在沖縄に住み、二児の父として子育てを楽しみつつ執筆やトークライブを行っている。彼は、「自由人」に憧れる若者たちのカリスマだ。

そんな彼が妻との出会いやこれまでの旅を振り返り、「大切な人の存在」を、写真とエッセイでつづったのが本書「イツモ。イツマデモ」。「大学入学後、周囲の影響で本を読むようになり、最近読書の楽しさに気付きました」という経営学科3年生の奥水さんは、友人に薦められてこの本に出会ったという。最初は表紙の空の写真が気に入って手に取った。読んでみたら、癒される感じがして「いいな」と思ったのだという。さっそく別の友だちに紹介したら、その友だちがまた友だちに紹介したため、本はまだ手元に返ってきていないのだとか。「大切な人に、ずっと一緒にいようと素直に言えるのが素敵です」。本を読んだすべての友達が、きっと同じ感想を持ったに違いない。

# MOVIE

# BOOK



▶ Award

2008ジャパンカップチアリーディング  
日本選手権大会で4位入賞

平成20年8月22～24日に代々木体育館で行われた国内最大のチアリーディング大会にて、本学チアリーディング部「バッファローズ」が創部8年目にして快挙ともいえる4位入賞を果たした。「現時点での精一杯のパフォーマンスができました」と常見主将も笑顔でこたえた。



▶ Open Lecture

八王子キャンパス  
公開講座のお知らせ

【日時】  
①平成20年11月8日(土)  
10:30～12:30

②平成20年11月29日(土)  
10:30～12:30

【内容】  
①「逆上した殺人の刑罰は？」  
／法学部法律学科教授 五島幸雄

②「ウエルネス～健康でより活動的になる法～」  
／医療技術学部スポーツ医療学科准教授 蛭岡栄介

【申込方法】  
電話またはインターネットから  
0120-508-739  
<http://www.teikyo-u.ac.jp/>  
お申込み後、直接会場へお越しください。



▶ TV Program

CS放送『日テレG+ (ジータス)』で  
帝京大学のテレビ番組がスタート

本学の様々なクラブを舞台に、頂点を目指す選手やチームスタッフとの人間模様をドキュメンタリータッチで追いかける番組「アスリートの肖像」が10月からスタート。放送日時は毎週土曜(11:00～、17:15～)／毎週日曜(10:55～、17:15～)の15分。全国主要ケーブルテレビでも視聴可。



▶ Award

第6回世界大学空手道選手権大会  
にて空手道部が活躍

平成20年7月11～13日 於) ポーランド

【男子組手(75kg級)優勝】

甲斐健太(経済学科4年)

【女子組手(60kg級)優勝】

小林実希(スポーツ医療学科1年)

ほか、男子団体型日本優勝、男子団体組手日本準優勝、女子団体組手日本第3位

▶ Staff Credit

Produce モーグリーン	MO GREEN
Planner 須藤亮(MO GREEN)	Ryo Sudo
Illustrator Shu-Tang Grafix	Shu-Tang Grafix
Photographer 平野太呂	Taro Hirano
押尾健太郎	Kentaro Oshio
天野弘子	Hiroko Amano
Editor 香川優喜	Yuki Kagawa
山本章子	Akiko Yamamoto
仲野聡子	Satoko Nakano
山本衆平(MO GREEN)	Shuhei Yamamoto
Art Director 武田昌也(MO GREEN)	Masaya Takeda
井口創(MO GREEN)	So Iguchi
Designer 西原幹雄(MO GREEN)	Mikio Nishihara
Publisher 帝京大学本部 大学PR推進室	TEIKYO University PR Section

Flair

発行月:2008年10月(年4回発行)  
発行:帝京大学本部大学PR推進室  
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1  
TEL 03-3964-4162 FAX 03-3579-5903  
E-mail:post@med.teikyo-u.ac.jp  
URL:<http://www.teikyo-u.ac.jp/flair/>  
ご意見・ご要望をお待ちしております。  
郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。  
©帝京大学 2008 禁・無断転載

▶ Editor's Note

旅をテーマにお届けした今号のフレア、いかがでしたか? 日常を離れて触れる、人との出会いや感動は、なぜか特別な意味をもって、後の自分に大切なにかを与えてくれます。非日常的な時の流れの中で、ゆっくりと自分を振り返るのも、素敵な旅の楽しみ方ですね。今回、旅をした学生の方々のお話を聞いていて、旅の楽しみ方は十人十色なのだ改めて感じました。皆さんも、時間に自由がきく学生時代に、たくさんの国や文化に触れて、自分流の旅の楽しみ方を覚えてくださいね。次号の特集は「はたらく人々」です。いずれ訪れる「就職」に向けて、シンプルに「働くこと」について考えてみます。お楽しみに!

See You  
Next Issue!!

09年01月10日 Vol.72 配布予定

▶ Media

就職活動の強い味方、  
キャリアサポートセンター  
日比谷サテライトを要チェック

日比谷駅から徒歩3分の場所にある(株)関東雇用創出機構。この中に、帝京大学の学生専用相談室があります。「ただのサテライトでしょ?」と思っていれば損をするかも……。

「就活って何?」から  
エントリーシートの書き方まで

「よく『面接のときのノックは何回ですか?』と聞いてくる学生がいるのですが、大事なものはそこじゃない、ということから伝えていきます」

帝京大学の学生を担当する六反園さんは、一人の学生に約1時間30分をかけて相談に乗ってくれる。就職への漠然とした不安から面接時の髪形、エントリーシートの書き方まで、就職に関する相談なら何でも来い、だ。相談員は全員が各業界出身のベテラン揃いなので、メーカーや商社、マスコミといった業界話を企業目線で聞けるのも、大きな特徴だ。

相談は予約制だが、自由にPCを利用できるスペースもあるため、ここを拠点として面接やセミナーに出かけることも可能。内定の決まった学生から「就活中の辛いことも嬉しいことも、いちばん最初にここへ報告に来ました」と言われて何より嬉しかったという六反園さん。

日本のビジネスの中心である日比谷を就活の拠点にできる。こんな恵まれた環境を、利用しない手はない。



卒業生の就職・転職のサポートもしている。予約や問い合わせは(株)関東雇用創出機構「帝京大学生専用相談室」TEL:03-5157-8290まで。



帝京大学の学生を担当する六反園さん(写真右)と奥田さん(左)。企業に勤務し、社会の荒波を乗り越えた“人生の大先輩”の話を聞くだけでも、日比谷へ足を運ぶ価値あり。

内定祈願として先生からゼミ内の4年生に配られた勝虫(トンボ)のお守り。そのおかげか、次々と内定を確保できたそう。



伊東 誠先生

Makoto Ito

帝京大学非常勤講師

産経新聞、フジテレビ、ニッポン放送などメディアの最前線で活躍後、帝京大学非常勤講師へ。キャリアデザインなどを担当。



就活シーズンは木曜日の夕方、  
伊東ゼミの拠点になります。

「都内に拠点があれば、情報収集も就活もしやすい」「インターネットだけでは就活はできない」という理由で、この日比谷サテライトを拠点として活動を行っている伊東誠ゼミ(キャリアデザイン演習)。毎年秋には、模擬入社試験や4年生・OBを相手にした模擬面接など、内容の濃い「就活合宿」が行われる。